

緑豊かなピエモンテ州と イタリアン・リビエラからフランス・コートダジュールへ



ポルトフィーノ

ご旅行期間とご旅行代金
2027年3月22日(月)発~4月3日(土)着...¥884,000
お一人部屋利用追加代金...¥130,000

ツアーのポイント

- 中世サヴォイア公国領のピエモンテ、リグーリア、コートダジュールの3地方を訪ねます。リグーリア(イタリア・リビエラ)ではポルトフィーノ半島のラッパロに3連泊して、ポルトフィーノ、ポルトヴェーネレ、チンクエッテッレ、カモーリなど美しい海岸沿いの町を巡ります。コートダジュールでは、ニースやモナコだけでなく、歴史を感じさせる細く入り組んだ路地や鮮やかでカラフルな色彩の家々が並ぶマントンやヴィルフランシュなど、小さな魅力的な街にもご案内します。ニースも3連泊です。
- 白トリュフやボルチーニなどピエモンテ地方を代表する美食の里で、中世のワインの町・アルバに2泊し、世界遺産ランゲ丘陵地帯に点在するイタリアを代表する極上の赤ワインの里を巡ります。「パローロ」、「バルバレスコ」、「ラ・モツラ」といったワインの産地を訪ねます。赤く染まったブドウの丘に行む中世の村。ワイン好き以外の方にもお楽しみいただける訪問です。
- モナコの北側、トゥルビーに残る紀元前1世紀のローマ遺跡「アウグストゥス戦勝記念塔」にご案内します。この遺跡はオクタヴァアヌスがカエサルとの戦いに勝利した記念に建てられた重要な史跡で、ここからはモナコと地中海が一望できます。

ワインの王様・パローロ

「王様のワインであり、ワインの王様」、「なめらかでコクがあり、トリュフの香りにわずかにオレンジの風味が生きている」と評される、パローロ村(人口680人)周辺で生産される赤ワイン。タンニンが多く、濃いルビー色が特徴です。また、ラ・モツラ村からパローロ村へ走るルート沿いのブドウ畑の丘陵地帯は絶景です。



ランゲ丘陵地帯



マナローラ/チンクエッテッレ



トリオラ村(イメージ)

ご旅行条件

- 募集人員/12名様
- 最少催行人数/6名様
- お食事/朝食10回・昼食8回・夕食9回
- 旅券残存期間/出国時3ヶ月以上
- 国内空港使用料/¥4,590(別途必要)
- 国際観光旅客税[出国税]/¥3,000(別途必要)
- 昨今の燃油価格上昇につき、燃油サーチャージは含まれておりません。別途徴収させていただきますので、何卒ご理解くださいませ。
- ETIAS(欧州渡航情報認証制度)/2026年度から必要となります。金額等の詳細が分かり次第、改めてご案内いたします。
- 海外の空港税、出国税、航空保安税が含まれております。
- 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
- トランク往復無料託送サービス[ご自宅~空港~ご自宅]
- 東京発着:成田空港に後泊しない場合は¥10,000引き
- ※ビジネスクラス追加料金:お問合せください。
- ※大阪・名古屋・福岡発着:千歳発着と同一料金

ご利用予定ホテル

- アルバ/ランゲ、サヴォナ、カステッリ、カリッサーノ、メデア
- ラッパロ/アストリア、ティグリオ・ロイヤル、エウロバ、ユーロテル・ラッパロ、エクセルシオール、プリストル
- マントン/シャンポール、プリンセス&リッチモンド、パリ・ローマ、リヴァ、ナポレオン、ル・ドーフアン、フランス・ドゴール
- ニース/NH ニース、メルキュール・サントル、パークイン、エクセルオール、エリントン、リビエラ、ウエストエンド、ホリデーイン、パーク、ノボテル
- ※上記ホテル又は同等クラスとなります。

	都市名	スケジュールと見どころ	お食事と宿泊地
1	千歳 成田	スーツケース無料託送サービス ご自宅~空港 ■夕刻、千歳空港より、航空機にて、成田空港へ[18:00発]。 ■深夜、カタール航空にて、ドーハへ[22:25発]。	☒☒☒[機中泊]
2	ドーハ ミラノ アルバ	■早朝、ドーハ到着後、カタール航空を乗り継ぎ、ミラノへ[14:15着]。 ■着後、入国審査ののち、専用バスにてピエモンテ州のワインの名産地・アルバへ。 《アルバに連泊です》	☐☐☐[アルバ泊]
3	(バルバレスコ) (ラ・モツラ) (パローロ) アルバ	■終日、ピエモンテ・ワインの里巡りにご案内します。世界遺産ランゲ丘陵地帯の美しいブドウ畑の景観が続きますので、ワインに関心の薄い方にもご満足いただけると思います。美しいイタリアの新緑をお楽しみください。 ☆午前、アラバ3大ワインのひとつで、パローロと並び称される「ワインの女王」バルバレスコの里・バルバレスコ村へご案内します。高台からは、どこまでも続く美しいブドウ畑が見渡せます。 ☆その後、アルバの3大ワイン村のひとつ・ラ・モツラ村へ。ラ・モツラではワイナリーも訪れます。 ☆午後、「ワインの王様」と称されるパローロの中心地・パローロ村を散策したのち、アルバへ。 ☆夕刻、アルバ旧市街の散策。ローマ時代の神殿跡やドゥオーモへご案内します。	☐☐☐[アルバ泊]
4	アルバ ポルト・ヴェーネレ ラッパロ	■午前、イタリア・リビエラ(リグーリア州)の世界遺産ポルト・ヴェーネレの岬へ。 ■着後、美しい港町の散策や新鮮な海の幸をお楽しみください。 ■夕刻、ポルトフィーノ半島の美しいリゾート地の一つ・ラッパロへ。 《リゾート地ラッパロには3連泊です》	☐☐☐[ラッパロ泊]
5	ラッパロ (チンクエッテッレ)	■終日、列車を使い、海岸沿いのカラフルで絵画的な5つの漁村世界遺産チンクエッテッレのヴェルナツツァ、マナローラ、リオマツジョーレの村々へご案内します。リオマツジョーレとマナローラの間は『愛の小径』と呼ばれる散策路(約1km)を散策します。	☐☐☐[ラッパロ泊]
6	ラッパロ (ポルトフィーノ) (カモーリ)	■終日、フェリーや列車を利用し、古代ローマ時代から高級保養地として知られるポルトフィーノのカラフルな家が集まる瀟洒な入り江や、背の高いカラフルな家々が小さな港のまわりに軒を寄せ合うカモーリへご案内します。 ■夕刻、リゾート地・ラッパロの散策もお楽しみください。	☐☐☐[ラッパロ泊]
7	ラッパロ ジェノバ トリオラ村 マントン	■午前、コロンブスが新大陸発見の航海に出航したジェノバの港や、世界遺産ガリバルディ通りへご案内します。 ■昼食には、名物のジェノバ・パスタをお召し上がりください。 ■午後、アルジェンティーナ谷に入り、魔女の村・トリオラ(標高776m、人口425人)へ。「イタリアの隠れた魅力的な村」のひとつに選ばれた中世の村の散策へご案内します。 ■その後、フランスに入り、コートダジュールのマントンへ。着後、17世紀の要塞にジャン・コクトーの絵画や陶器を展示するコクトー美術館へご案内します。	☐☐☐[マントン泊]
8	マントン モナコ ヴィルフランシュ ニース	■午前、モナコ公国へ。着後、グレース・ケリー妃が眠る大聖堂や、大公宮殿の衛兵交代を見学します。また、モナコの北側、トゥルビーに残るアウグストゥス戦勝記念塔にもご案内します。 ■午後、コートダジュールの中心地・ニースへ。途中、漁村ヴィルフランシュ・シュル・メールに立寄り、ジャン・コクトーの描いたフレスコ画が印象的なサン・ピエール教会へご案内します。 《ニースにも3連泊です》	☐☐☐[ニース泊]
9	ニース (サンポール) (カンヌ)	■午前、ヴァンスにて、マチスによって手掛けられたロザリオ礼拝堂へご案内します。 ■その後、丘の上に築かれた可愛らしい村・サン・ポール・ド・ヴァンスへ。狭い路地が連なる旧市街地区やシャガールのお墓を訪ねます。 ■午後、カンヌへ。カンヌの表通りであるラ・クロワゼットや、カンヌ映画祭の会場(外観)をご覧ください。	☐☐☐[ニース泊]
10	(ラ・ブリッグ) ニース	■午前、「南アルプスのシスティーナ礼拝堂」と称される、ノートル＝ダム＝デ＝フォンテーヌ礼拝堂へ。ほぼ全面が十五世紀末のフレスコ画で埋め尽くされています。約220㎡におよぶ「聖書の絵物語」のような構成です。特に「ユダの首つり」は必見です。 ■午後、徒歩とトラムを利用し、ニース市内観光。地中海に面した美しい海岸通りプロムナード・デ・ザングレ、ニースの中心地・マセナ広場、多くの店で賑わう旧市街地区へご案内します。	☐☒☐[ニース泊]
11	ニース ミラノ ドーハ	■午前、ミラノ国際空港へ。 ■夕刻、カタール航空にてドーハを経由し、帰国の途へ[16:15発]。	☐☐☐[機中泊]
12	成田	■夕刻、成田空港到着後、入国審査。 ■その後、ホテルバスにて、空港近郊のホテルへ[20:00着]。	☐☐☐[成田空港近郊泊]
13	成田 千歳	■午前、航空機にて千歳空港へ[11:00発]。 ■着後、解散[12:30着]。 スーツケース無料託送サービス 空港~ご自宅	☐☒☒

※表記の時間は、すべて現地時間で表示されております。
※表記の「○」はお食事の有を示します。「☐」は機内食、「☒」の食事は含まれておりません。
※現地の都合によりスケジュールが変更される場合がございます。その場合でも極力日程に従って旅行サービスがお受けになれるよう万全の手配努力を致します。